

2017年2月13日

日本ロジスティクスファンド投資法人

清須物流センター竣工式のお知らせ

日本ロジスティクスファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、愛知県清須市で再開発事業を進めていた「清須物流センター」の竣工式を、2017年2月13日、同施設内にて執り行いました。

竣工式には、「清須物流センター」に入居する三菱電機ロジスティクス株式会社の大矢取締役産機事業部長をはじめ関係者の方々、設計・施工を担当した矢野建設株式会社の矢野代表取締役社長、コンストラクションマネジメントを担当した株式会社久米設計名古屋支社の鈴木執行役員支社長など関係者の方々、三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社（本投資法人の資産運用会社）からは代表取締役社長の棚橋らが参列し、同施設の完成を祝いました。

「清須物流センター」は名古屋市中心部から10 km圏内の消費者向け配送に適した優良立地にあり、東名高速・名古屋高速など主要高速道路を通じて全国への広域配送だけでなく、名古屋港や中部国際空港を利用した国際物流のニーズにも対応できる立地条件を備えています。建物は、鉄骨耐震構造、延床面積約20,463 m²、4階建て（倉庫部分は3層）のマルチテナント型物流施設として再開発されました。また、昨今の環境意識の高まりに配慮し、有事の時の水害対策としてキュービクルを2m嵩上げ対応するなど、BCPを意識した設計となっています。竣工前に、本物件全体について三菱電機ロジスティクス株式会社との契約が完了しており、同社の輸出物流拠点として利用される予定です。

本投資法人は保有物件の再開発事業を推進し、これまでに大東物流センター（大阪府大東市）、八千代物流センター（千葉県八千代市）で成功させた実績を有しており、「清須物流センター」はその第3弾となります。なお、本投資法人が第4弾として現在取り組んでいる「春日井物流センター」の再開発事業においては、今回の設計・施工者である矢野建設株式会社と事業協定書を締結し、同社と共同して順調に建設を進めています。

本投資法人は、今後も物流REITのパイオニアとして優良な物流施設の取得を進めるとともに保有物件の再開発を継続的に実施することで、1口当たり分配金の安定と持続的な成長を目指します。

【施設外観】



【竣工式の様子】



以上

※ 本投資法人のウェブサイト <http://8967.jp/>